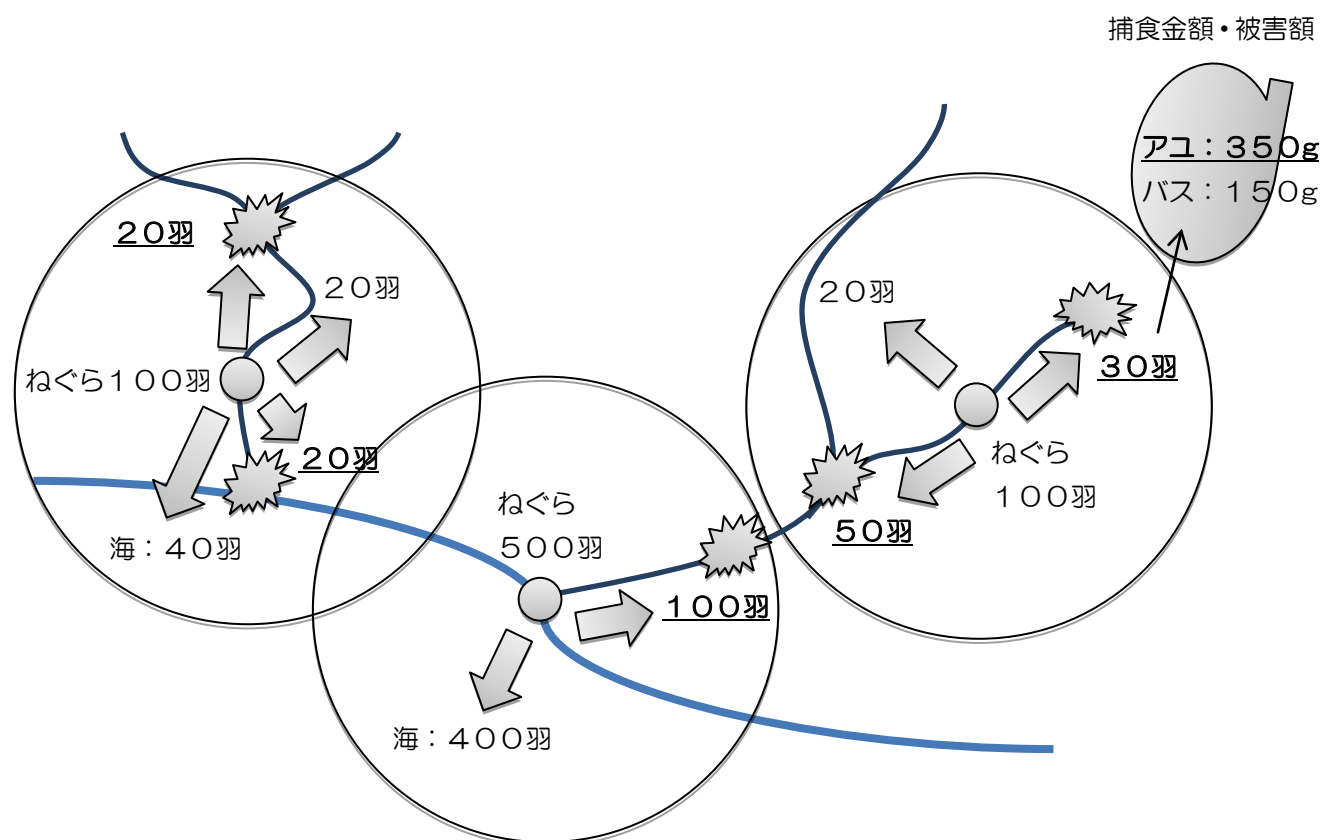


被害状況のモニタリングの推進について

カワウの管理を推進するためには、カワウの生息状況と、被害状況を正しく把握することが重要。両者の関係が明確になることによって、管理の方向性が見えてくる。カワウによる被害は、全国に広がっているものの、正確な被害量の把握や、被害地点の明確化が図られているところは少ない。これらの被害状況を捉えるためには、被害が発生している場所で、カワウの飛来数を調査することが必要となる。

■被害地での飛来数調査の意義

- ・被害量を数字で示すことができるようになる。
- ・被害がおきている場所を明確化することができ、被害地点の中でもどこを優先すべきなのか、ねぐらやコロニーの位置関係が明らかになり、個体群管理の方向性も検討できるようになる。
- ・被害者自身で調査することによって、正しく被害状況を認識し、対策の効果なども肌で感じられるようになる。



■被害地での飛来数調査結果の活用の課題

- ・調査の質をどのように一定に保つか。
- ・継続的な調査が行われるようにするためにはどのような体制が必要か
- ・膨大なデータをいかにして、処理し、広域的な管理に使えるデータにしていくのか？
- ・調査の頻度や調査時期はどうすべきか

■内水面漁業被害状況

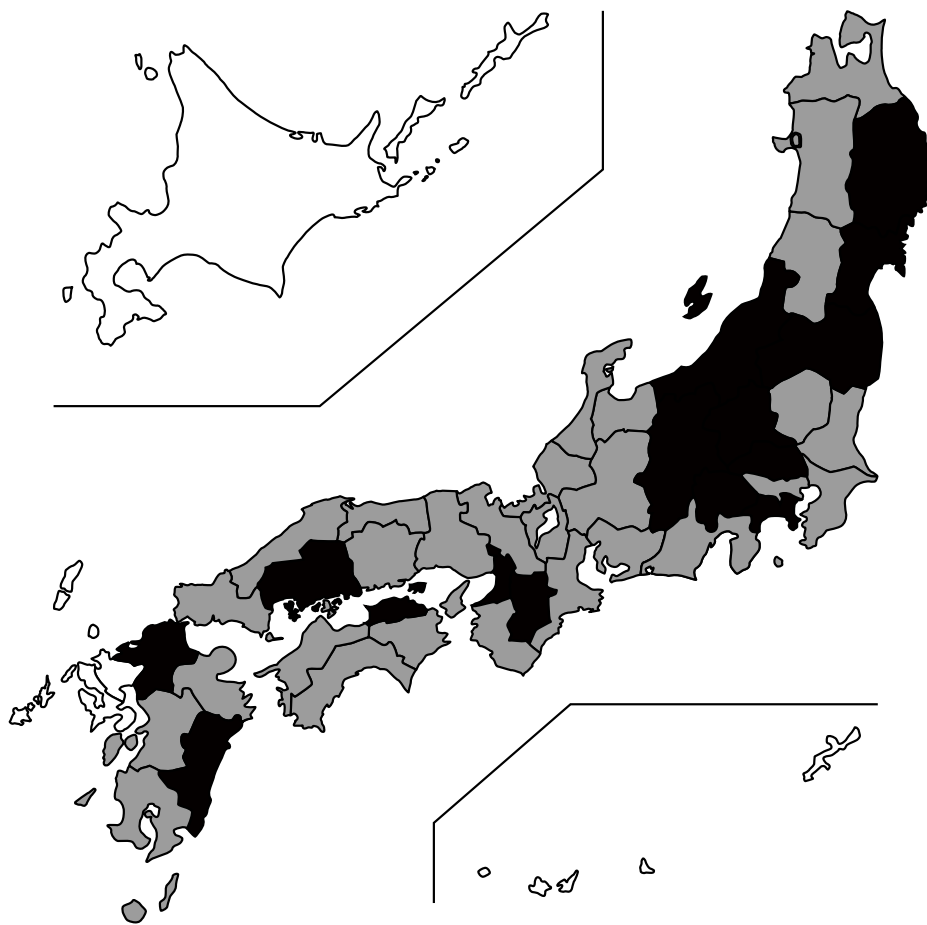
■全国アンケートの設問


カワウによる被害状況の把握について


県内でカワウによる被害は発生していますか？


漁業被害

【内水面漁業・内水面養殖業・海面漁業・海面養殖業・その他漁業】



 内水面漁業・内水面養殖漁業 両方に被害あり

 内水面漁業に被害あり

 被害なし

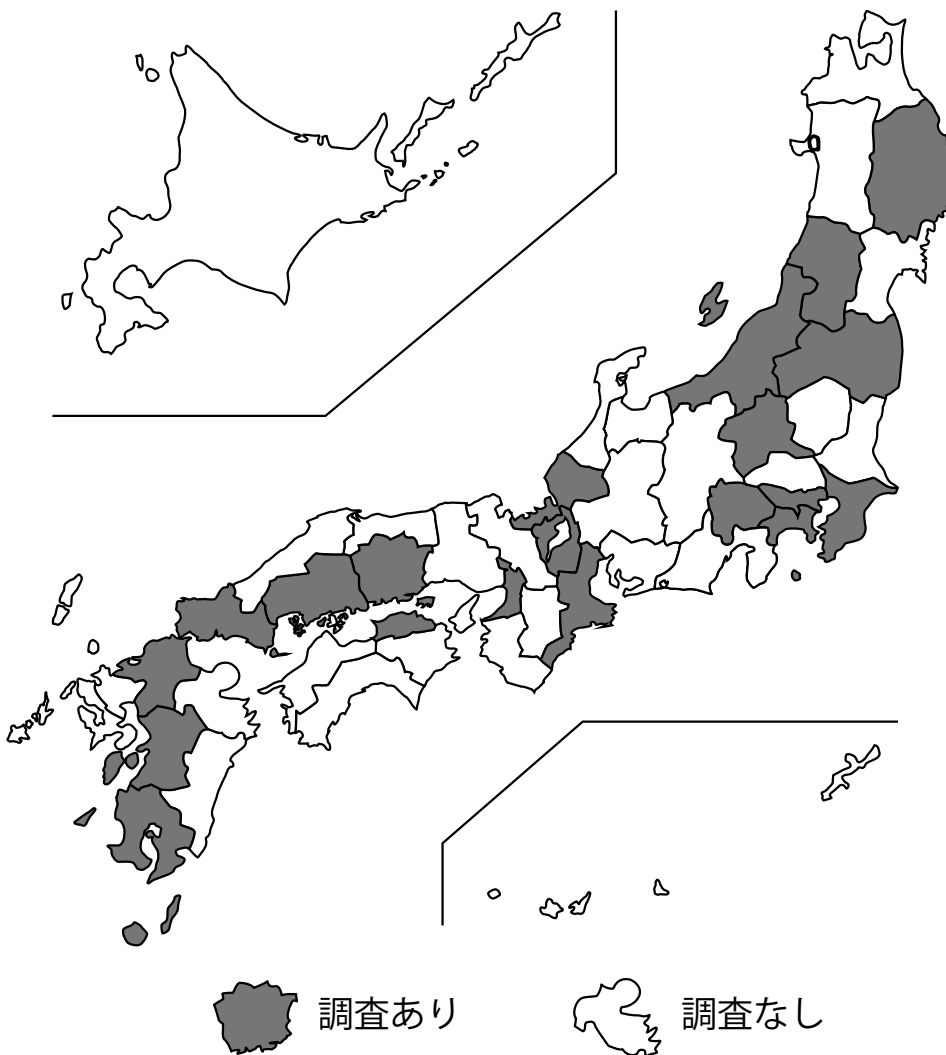
■飛来数調査状況

■全国アンケートの設問

カワウによる被害状況の把握について

日中にカワウが飛来する場所ごとに飛来数を把握していますか？

【はい・いいえ】



■胃内容物調査状況・捕食量の金額換算状況

■全国アンケートの設問

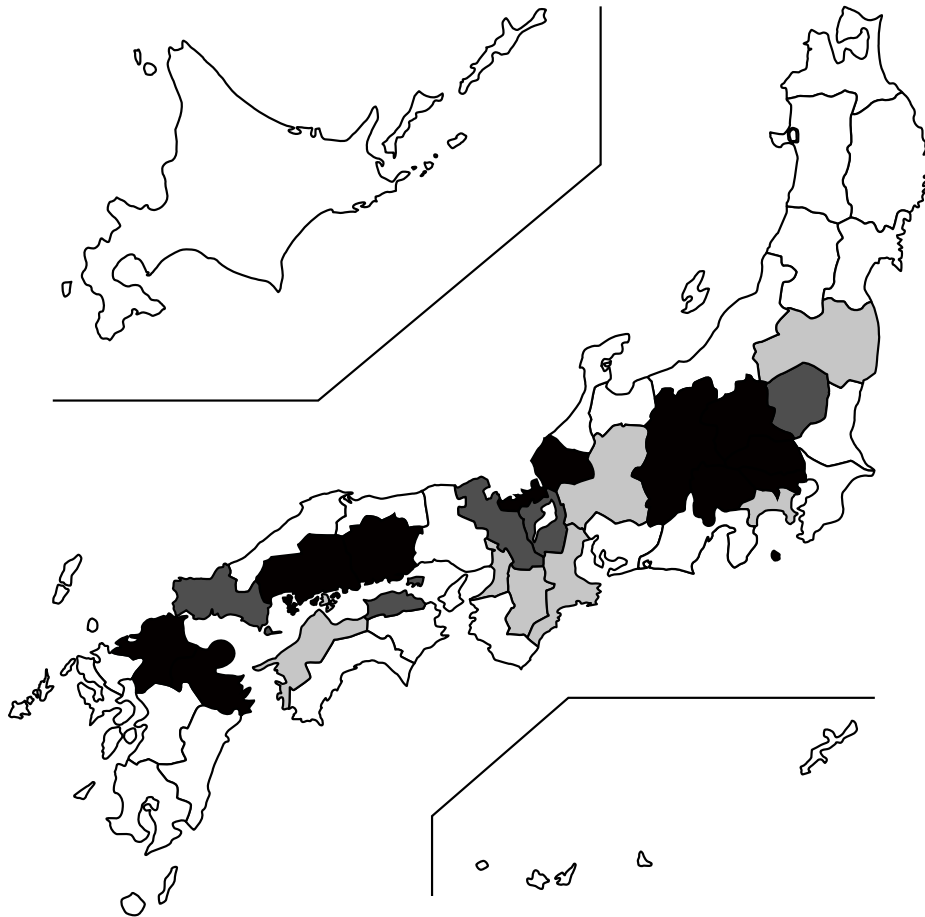
カワウによる被害状況の把握について


駆除されたカワウの胃内容を調べていますか？


【はい・いいえ】


カワウによる漁業被害額や捕食量を金額換算した値を算出していますか？


【はい・いいえ】



 胃内容物調査・捕食量の金額換算 両方ともあり

 胃内容物調査あり

 捕食量の金額換算あり

 調査なし